

令和2年度学校関係者評価

令和3年3月23日（水）に学校関係者委員を招聘し、学校関係者評価委員会を開催した。本校の学校関係者評価委員は、県看護協会代表・実習施設代表・保護者代表・卒業生代表らに委嘱している。

1. 方法

学校側が評価下自己点検・自己評価結果について、是非を問うと共に、課題と考えられる平均点に満たない項目について意見及び質疑を交わした。

2. 結果

大項目基準Ⅰ～Ⅹの評価は、満点4点中平均3.56であり概ね良好の評価であった。特に教育活動、学生の募集と受入れ、法令の遵守は高得点であり、コロナ禍のオンライン導入による学習の保証、学生募集の広報活動が制限された中、これまでの活動が志願者の減少枠を小さくしたことが評価された。法令の遵守については、法令や専修学校設置基準を遵守していると評価され満点となっている。その中で、平均点を下回った項目は、基準Ⅱ学校運営、Ⅹ社会貢献・地域貢献であった。就業規則等改定に応じた周知が不足していたこと、社会・地域活動を制限したことが平均点を下回った評価となっている。就業規則の周知の遅れは早々に医師会に提案するよう、また社会・地域貢献は、制限の中で意識が低くなっていたのではと指摘され、感染対策をとりつつできる地域貢献を検討するよう意見があった。

学校関係者評価委員会評価

Ⅰ 教育理念・目的・育成人材像 評価 3.5

理念達成に向けた教育活動への取り組みは評価したい。さらに、質の高い看護職員を養成するために、社会の動向や国の取組等を踏まえ、学校の将来構想について、設置主体である中部地区医師会と学校側で話し合う場を設けて欲しい。

Ⅱ 学校運営 評価 3.2

規則・規定の職員への周知、情報環境の整備など課題項目について計画的に取り組んで欲しい。

Ⅲ 教育活動 評価 3.8

対面授業において、①教員は学生の反応を見ながら授業を展開し、②学生は授業時間中に教員に質問をするのが可能であった。また、③同じ教室内で学生間の交流により学習意欲を高めるなどの教育効果があった。オンライン授業においても、このような学習効果が維持できるよう取り組んでほしい。

Ⅳ 学修成果 評価 3.5

期待する卒業生像の達成状況確認のためにも追跡することは必要。低い項目の他職種協働や予防的支援については、達成度の評価が時期によって厳しいと思う。結果が低くても、こういうことが必要と意識するために項目があることが大事だと思う。

Ⅴ 学生支援 評価 3.5

今年度はコロナ禍でいろいろな行事が中止となり厳しかったと思う。ホームカミングで同級生と会うことは息抜きにもなり、近況報告を話しあうことで前向きになれる卒業生もいるため、再開できればと思う。

Ⅵ 教育環境 評価 3.8

今年度は、コロナ禍で状況が変化中、感染対策への取り組みは評価したい。

VII 学生の募集と受入れ

評価 3.8

コロナ禍で予定していたことが実施できなかった状況にもかかわらず、応募が多かったことは、これまでの実績が評価されていると思う。

VIII 財務

評価 3.5

課題として取り上げたことを次年度実施して欲しい。

IX 法令等の遵守

評価 4.0

法令や専修学校設置基準を遵守している。

X 社会貢献・地域貢献

評価 3.0

コロナ禍の中、社会貢献・地域貢献に関する項目は厳しい状況だったと思う。その中で、できる状況であれば、何かできるか検討できれば良かったと思う。

学校関係者評価レーダーチャート

